

【国語】

本校の概要

課題

改善の方向

国語

【内容】

□思考力、判断力、表現力等に関して
「話すこと・聞くこと」は全国平均を下回っている。
「書くこと」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
「読むこと」は全国平均を上回っている。

□知識及び技能に関して
「言葉の特徴や使い方に関する事項」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
「情報の扱い方に関する事項」は全国平均を上回っている。

・「話すこと・聞くこと」では、相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えることの正答率が低くなっている。

・「書くこと」では、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することの正答率が低くなっている。

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、比喩や反復などの表現の工夫に気付くことの正答率が低くなっている。

●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

●目的や相手に応じて伝えたい事柄全体の構成を考えること。

●自分の考えが伝わるような書き表し方を考えること。

●表現の工夫に関係する知識を深め、適切に活用すること。

○目的を明確にして得た情報と自分の考えを比較しながら情報をまとめる学習の充実。

○聞き手の知識や経験を具体的に想定し、それに応じて話し出しや構成を考えて話す学習活動の充実。

○友達との交流を通して自分の考えが伝わる表現に気付く場面を設定する。

○物語や詩の教材を通して効果的な表現技法を意図的に着眼させるようにする。

【算数】

	本校の概要	課題	改善の方向
算数	【領域】 □「数と計算」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □「図形」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「測定」は全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □「変化と関係」・「データの活用」は全国平均を下回っている。	●百分率で表された割合と比較量から基準量をもとめること。 ●単位量あたりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること。 ●表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること。 ●二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。	○百分率の意味理解をする学習活動のを位置付ける。 ○単位量の意味理解をする学習活動のを位置付ける。 ○データの活用の基礎的な確認をする学習活動を位置付ける。 ○データから必要な情報を読み取る活動の充実。 ○日常生活に算数の学習で学んだことを活用していく活動の充実。